

Ⅲ 健康増進課

1 健康づくり推進事業

(1) 「健康津軽21（第2次）」の推進

管内の早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、住民主体の健康づくりを進めていく計画として平成13年度に「健康津軽21」を策定した。その後中間報告と見直しを経て、平成24年度に最終評価し、その結果、目標値に達した又は改善傾向にある指標の割合は全体の4割となっており、分野別では「歯の健康」、「こころの健康づくり」、「たばこ」に改善傾向が見られたが、「身体活動・運動」、「循環器病」、「がん」等に関する項目については、依然横ばいや悪化と評価された。この最終評価を踏まえて、平成25年度を初年度とする「健康津軽21（第2次）」を策定した。策定内容は、健康津軽21に引続き「肥満予防対策」、「喫煙防止対策」、「自殺予防対策」を重点課題として、以下3領域、12分野について取り組み、「管内市町村健康増進計画（第2次）」と連動させながら推進を図っていく。

① 「生活習慣の改善」の領域

栄養・食生活、身体活動・運動、飲酒、喫煙、歯の健康の5分野

② 「生活習慣病の発生予防と重症化予防」の領域

がん、循環器疾患、糖尿病、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の4分野

③ 「こころの健康」の領域

こころの健康、認知症、休養（睡眠）の3分野

(2) 津軽地域 地域・職域保健連携推進事業

当圏域は、働き盛りの人たちの健康課題の解決が喫緊となっていることから、市町村や保健所等で実施している保健サービスと、職域で実施している保健事業について相互の連携を密にし、健康津軽21（第2次）計画における重点的な取組である生活習慣病の予防やメンタルヘルス対策について、効果的な保健事業を推進するものである。

ア 津軽地域 地域・職域保健連携推進協議会

津軽地域保健医療推進協議会保健対策部会において開催した。

健康津軽21（第2次）における「がん」分野の評価指標は、「悪化」の割合が高かったことから、三つの重点課題である「肥満予防対策」、「喫煙防止対策」、「自殺予防対策」に加え、「がん対策」を取り組むことで了承された。

○開催日時：平成29年11月15日（木）15：00～16：30

○開催場所：ラグリー

○出席者：28人（委員11人、オブザーバー6人（市町村）、事務局11人）

○内容：《テーマ》健康津軽21（第2次）の中間評価について

① 健康津軽21（第2次）の分野別の評価（課題と対応）について

② 評価指標の見直しについて

がんのSMR、がん検診受診率、こころの健康

イ 市町村・事業所における健康づくり研修会、支援

開催年月日	参加者	内 容 等
平成 29 年 12 月 5 日 (金)	事業主 16 人	講演「中南地域の健康課題とがん検診受診の必要性」 講師 弘前保健所 主幹 山田淑子
平成 30 年 1 月 23 日 (火)	大鰐町住民 32 人	講話「元気なうちから予防 ～認知症について知ろう～」 講師 弘前保健所 技師 音喜多祐未
平成30年 2月22日 (木)	事業主 52人	講演「中南地域の健康課題とがん検診受診の必要性」 講師 弘前保健所 主幹 山田淑子
平成30年 3月24日 (土)	板柳町食生活改善 推進員 25人	講話「いつまでも『まるかじり』がおいしい ～歯科医と食べるを守る～」 講師 弘前保健所 技師 (歯科医師) 乾 明成

(3) 喫煙対策事業

「健康津軽21(第2次)」の今後の目指すべき姿と取り組みをもとに、喫煙による健康障害に対する知識の普及啓発及び受動喫煙防止対策の推進を図る。

ア 研修会・機会教育等実施状況

開催回数	年月日	開催場所	内 容	講 師	対象参加者
1	平成 29 年 8 月 11 日	大鰐町中央 公民館	1. 受動喫煙防止ソングを活用 したストリートダンスを披 露 2. 成人、参列者の肺年齢測定 と禁煙指導	弘前保健所 主幹 (保健師) 山田 淑子 技師 (保健師) 岩谷 香奈 音喜多 祐未	大鰐町平成 29 年度新成人 約 20 人
2	平成 29 年 8 月 23 日	ヒロロ 4 階 市民文化交 流館ホール	大学コンソーシアム学都ひろさ き「共通授業」において受動喫 煙と空気クリーン施設認証制度 について説明した。	弘前保健所 技師 (保健師) 音喜多 祐未	大学生 52 人
3	平成 29 年 8 月 28 日	黒石市産業 会館	「受動喫煙について」というテ ーマで喫煙の健康被害、受動喫 煙防止について講演した。	弘前保健所 技師 (保健師) 音喜多 祐未	青森県理美容 生活衛生同業 組合員 38 人
4	平成 29 年 9 月 1 日	弘前大学	若者健やか向上支援事業におけ る健康教育にて、受動喫煙と空 気クリーン施設認証制度につい て説明した。	弘前保健所 技師 (保健師) 音喜多 祐未	公務員講座を 受講している 学生のうち 希望者 34 人

イ 空気クリーン施設・車の認証拡大

①空気クリーン施設の認証状況の把握・情報提供

・管内市町村における空気クリーン施設・車の認証状況を把握し、各市町村へ情報提供を行った。

②喫煙の健康被害に関する知識の普及・啓発、空気クリーン施設のPR

・食品衛生協会の協力のもと食品衛生講習会の際に、空気クリーン施設認証制度のリーフレットを飲食店へ約350部配布。

・弘前市職員に同行し、ひろさき健やか企業となっている事業所10施設へ空気クリーン施設認証制度について訪問説明を行った。

・若者健やか向上支援事業と絡めて7件の飲食店へ空気クリーン施設認証制度について訪問と電話説明を実施した。

・各市町村へ市町村保健師活動打合せにてPR。

空気クリーン施設の現地調査の際、空気クリーン車のPRを実施。

新規認証数：103件（空気クリーン施設：71施設 空気クリーン車：32台）累計911件

ウ 調査の集計・分析等

<市町村の喫煙対策自己点検調査>

・11月に市町村の喫煙対策自己点検調査を実施し、中南地域の喫煙対策の現状把握と分析を行った。結果を3月に市町村に対して公表した。

<妊婦喫煙状況の調査>

・管内市町村喫煙率、空気クリーン施設認証状況を把握し、母子保健ネットワーク会議にて市町村に対して情報提供した。

(4) がん予防のための中南地域健やか力向上事業

中南地域はがんによる死亡率、特に、壮年期の死亡率が高く、また、2次医療圏の標準化し防止の全国比較でみると、男性がワースト1、女性がワースト5であることから、がんの早期発見・早期治療のため、住民と職域関係者のがん検診及び精密検査の受診率向上を図るとともにがん予防のため、無煙世代育成等を通して、若い世代の健やか力向上を目指す。

1 がん検診受診率向上支援チャレンジ事業

(1) がん検診受診率向上施策研修会

がん検診受診率向上のための考え方やこれまでの取組みの検証・評価による効果を共有することにより、管内市町村のがん検診受診率向上の取組みの一助とすることを目的に開催した。

○開催日時：平成29年10月18日（水）13:00～16:00

○開催場所：土手町コミュニティパーク 多目的ホールA

○内 容：講話「受診率を上げる！行動変容マーケティングの科学的アプローチによる先進事例～受けない人の、受けない本当の理由」

(株)キャンサースキャン 代表取締役 福吉 潤氏

(2) がん検診及び受診率向上のためのトップセミナー

事業所等代表者ががん検診の必要性や精検の重要性について理解を深め、事業所におけるがん検診受診率の向上を図る。

○開催日時：平成30年1月22日（月）13:30～16:00

○開催場所：アートホテル弘前シティ 3階 サファイア

○内 容：①講話「がん検診を理解し、がん検診受診者を増やすために」

弘前大学医学部附属病院 准教授 松坂方士氏

②情報提供 ・青森県健康経営認定制度について

・青森健康経営事業所の認定を受けて

2 健やか力向上支援事業

若者(学生)が喫煙などの健康に関する学習会や空気クリーン施設や青森のおいしい健康応援店認証制度の勸奨等を通じて、学生の健やか力の向上を図る。

(1) 学生対象の学習会

①学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム集中講義

○開催年月日：平成29年8月23日(水)

○内 容：本事業内容、中南地域の健康課題、空気クリーン施設及び青森のおいしい健康応援店認証制度の説明等

②弘前大学公務員講座

○開催年月日：平成29年9月1日(金)

○内 容：本事業内容、中南地域の健康課題、空気クリーン施設及び青森のおいしい健康応援店認証制度の説明等

(2) 学生ボランティアの募集

12人が登録し、メールで情報交換

(3) 学生ボランティアによる「空気クリーン施設」の発掘

7件の情報提供があり、認証施設3件

(4) 学生ボランティアによるSNSの発信

学生ボランティア1人のツイッターでの情報発信

3 無煙世代育成・保護者啓発事業

受動喫煙防止ソングを活用して、小・中学校等において児童・生徒自身による自主的な学習や保護者に対する啓発機会を増やし、受動喫煙防止に関する知識の定着を図るとともに、活動の拠点化に向けた体制の整備を行う。

(1) 無煙世代育成教室

○実施時期：平成29年5月～平成30年3月

○実施場所：保育園(2か所)、小学校(1か所)、市町村等イベント(3か所)

○対象者：園児・小学生等

○内 容：・受動喫煙防止ソングを活用した児童生徒や保護者の知識の定着
・教室の開催回数(参加者)：34回(1562人)

(2) 無煙世代育成事業報告会

○実施時期：平成30年2月20日(火)、平成30年2月26日(月)

○実施場所：保育園(2か所)

○対象者：園児等

○内 容：受動喫煙防止ソングに合わせたダンスレッスン、ダンス発表、たばこに関するクイズ

(5) 特定健診・レセプトデータに関わる集計・分析(旧「市町村等「健活」推進のための地域診断事業」)

がん・生活習慣病対策課が配布する地域診断ツールの活用し、平成28年度特定健診データ(国保分)、レセプトデータを取りまとめ、がん・生活習慣病対策課に提出、市町村に情報提供を行った。

(6) 市町村健康づくり活動への支援

1 市町村健康づくり推進協議会等への参加

市町村	協議会名	委員	委嘱期間	開催年月日	出席者	備考
弘前市	※H28 は弘前市民健康推進協議会として実施。H29 年度解散。市の条例改正後、市の附属機関として H30 年度に新たな審議会を立ち上げる予定。					
黒石市	黒石市健康づくり推進協議会	所長	H29. 4. 1 ～H31. 3. 31	H29. 7. 20	山中所長 山田主幹	①28 年度事業実績 ②29 年度事業計画
				H30. 2. 28	山中所長 山田主幹	①健康くろいし 21 計画の中間評価 ②重点地区の 5 年間の活動報告
平川市	平川市健康づくり推進協議会	所長	H29. 3. 21 ～H31. 3. 20	H29. 10. 3	山中所長 高橋主幹	①「第 2 次 健康ひらかわ 21」の進捗状況について ②平成 29 年度健康づくり事業の進捗状況について
				H30. 2. 16	山中所長 高橋主幹	①第 2 期保健事業実施計画(データヘルス計画) ②第 3 期特定健康診査等実施計画(案)について
西目屋村	西目屋村健康づくり推進協議会	—	—	—	—	※実施なし
藤崎町	藤崎町健康づくり推進協議会	所長	H28. 8. 1 ～H30. 7. 31	H29. 12. 27	山中所長 荒井技師	①H28 年度藤崎町保健事業について ②健康ふじさき 21 (第 2 次) の中間評価について
大鰐町	大鰐町健康づくり推進協議会	所長	H28. 10. 1 ～H30. 9. 30	H29. 5. 29	山中所長 乾技師 岩谷技師	①28 年度事業実績 ②29 年度事業計画 ③平均寿命を 1 歳延ばそうプロジェクトについて
				H29. 11. 13	山中所長 岩谷技師	①28 年度保健事業概要 ②29 年度上半期保健事業実績報告及び下半期事業計画 ③健康おおわに 21 計画(第 2 次) の中間評価について
				H30. 3. 1	山中所長 岩谷技師	①健康おおわに 21 計画(第 2 次) の中間評価について
田舎館村	田舎館村健康づくり推進協議会	所長	H29. 4. 1 ～H31. 3. 31	H30. 3. 19	山中所長 音喜多技師	①村の健康状況と課題について ②第 2 期田舎館村保健事業実施計画について
板柳町	板柳町健康づくり推進協議会	—	—	—	—	※実施なし

2 母子保健事業

(1) 妊産婦支援体制整備事業

虐待の発生予防として、育児の孤立化、育児不安の軽減に努め、母子保健の側面から地域養育支援体制を整備することを目的とする。

ア 産後うつ病の予防対策推進事業

市町村及び医療機関に対し、産後うつ病質問票の普及を図り、併せて医師、児童相談所、市町村の児童福祉・母子保健関係者等関係機関との検討会を開催し、産後の抑うつ状態の早期発見を推進することを目的とする。

(ア) EPDS の市町村・医療機関への普及推進会議（母子保健ネットワーク会議と併催）

平成 29 年度版として更新した「ハイリスク妊産婦、未熟児等の連絡窓口担当者名簿」を市町村へ配付し、産後うつ病の予防や早期発見のための活用について、働きかけた。

(イ) ケース検討会議（要保護児童地域対策協議会）

弘前市 2 件

イ 母子保健ネットワーク会議

保健・医療・福祉及び教育等関係者等により、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に係る協議・検討・研修を行い、地域保健との関係機関の連携体制整備を進めることを目的とする。

開催日時	開催場所	出席者	内 容
平成 29 年 8 月 18 日(金) 13:30～16:00	弘前市民 会館 1 階 大会議室	医療機関、市町 村、児童相談所、 保健所 計 25 人	1. 講演 「NICU退院時のフォローアップと地域との連携の 必要性」 講師 青森県立中央病院 総合周産期母子医療センター 成育科 部長 網塚 貴介 氏 2. 情報交換 (1) 各市町村、医療機関での未熟児への支援方法に ついて (2) 医療的ケア児への支援について

(2) 女性健康支援事業

ア 女性健康相談事業

女性がその健康状態に応じ的確に自己管理を行うことができるよう、気軽に相談できる体制を確立することにより、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図る。

- ・相談件数：定期相談 1 件、随時相談 5 件
- ・相談内容：不妊治療、婦人疾患、育児ストレスに関する相談。
- ・不妊専門相談センター予約件数：8 件（うち 1 件はキャンセル後改めて予約したもの）

イ 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については、1 回の治療費が高額でありその経済的負担が重いことから、治療費の一部を助成し経済的負担の軽減を図る。

- ・治療費助成承認件数：222 件

(3) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性特定疾病児童等に対して、適切な療育を確保するために、その疾病の状態及び療育の状況を随時把握すると共に、その状況に応じた適切な指導を行い、日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図る。

ア 小児慢性特定疾病医療受給者証交付と指導指示の状況 (人)

番号	疾病区分	交付数	医療意見書中指導指示有の件数
01	悪性新生物	30	0
02	慢性腎疾患	14	0
03	慢性呼吸器疾患	12	0
04	慢性心疾患	68	0
05	内分泌疾患	62	0
06	膠原病	10	0
07	糖尿病	20	0
08	先天性代謝異常	9	0
09	血液疾患	17	0
10	免疫疾患	2	0
11	神経・筋疾患	17	0
12	慢性消化器疾患	21	0
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	4	0
14	皮膚疾患	1	0
計		287	0

イ 療育指導

(ア) 所内相談 ①新規交付時面接相談：43件 ②随時相談：1件 ③電話相談：3件

(イ) 訪問指導 0件

(4) 小児慢性特定疾病医療受給者証交付状況

治療が極めて困難で長期にわたる小児の特定疾患についての治療研究を推進し、その医療の確保と普及を図るとともに、患者家族の医療費の負担軽減を図るため、当該小児に対し小児慢性特定疾病医療受給者証を交付している。

(人)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	変化を伴う症候群	染色体又は遺伝子に	
弘前市	15	8	10	46	43	6	10	7	8	1	11	10	1	1	177
黒石市	3	2	1	6	11	0	5	1	5	0	2	4	2	0	42
平川市	6	1	0	9	2	2	3	1	2	1	3	2	1	0	33
西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
藤崎町	2	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	3	0	0	9
大鰐町	3	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
田舎館村	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4
板柳町	1	2	1	4	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	14
合計	30	14	12	68	62	10	20	9	17	2	17	21	4	1	287

(5) 小児慢性特定疾患児手帳（ひまわり手帳）交付事業

小児慢性特定疾病医療費助成制度の公費負担を受けている児童に対し、本人の健康状態の記録・かかりつけ医療機関の連絡先等を記入できる手帳を交付し、患児の福祉の増進に寄与している。

(人)

年度	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	変化を伴う症候群	染色体又は遺伝子に	
29年度	2	3	1	16	4	1	4	2	3	0	1	5	1	0	43

(6) 先天性代謝異常等検査

フェニールケトン尿症等の先天性代謝異常、先天性甲状腺機能低下及び先天性副腎過形成症は、放置すると知的障害などの障害をきたすため、新生児期に血液によるマス・スクリーニング検査を行い、異常を早期に発見することにより、後の治療とあいまって障害を予防することを目的に実施している。

医療機関への受診の有無を確認し、速やかに受診していることを確認した。保健所から保護者への受診勧奨が必要なケースは無く、要精検者は1ヵ月以内に精密検査受診していた。

(弘前市：3件、黒石市：1件、平川市：1件/全5件)

(7) 妊婦連絡票等実施状況

安全な妊娠、出産環境を構築し、子どもの健全な育成に資するため、医療と保健の連携体制の一層の充実強化を図ることにより、妊娠初期から産褥期まで、妊産婦及びその家族に対し一貫した支援を行うことを目的として、妊産婦情報共有システムが構築されている。

市町村別	妊娠届出数 (A)	妊婦連絡票 提出数 (B) (B÷A)	妊婦保健指 導報告書 発行数 (C) (C÷B)	指導方法 合計	窓口指導	訪問指導	電話指導	その他	要連絡・指 導妊産婦連 絡票受理数 (D)	妊産婦保健 指導結果連 絡票発行数 (E) (E÷D)	妊婦連絡票 の提出はな いが、保健 指導した数 (F) (F÷A)
弘前市	1134	1126 99.3%	1128 100.2%	1128	1125	0	3	0	86	75 87.2%	3 0.3%
黒石市	193	193 100.0%	193 100.0%	193	193	0	0	0	18	18 100.0%	0 0.0%
平川市	173	172 99.4%	172 100.0%	172	150	0	22	0	14	16 114.3%	2 1.2%
西目屋村	7	7 100.0%	7 100.0%	7	7	0	0	0	1	2 200.0%	0 0.0%
藤崎町	98	98 100.0%	98 100.0%	98	89	1	8	0	3	2 66.7%	0 0.0%
大鰐町	39	39 100.0%	39 100.0%	39	35	0	4	0	3	3 100.0%	0 0.0%
田舎館村	42	42 100.0%	42 100.0%	42	40	0	2	0	5	5 100.0%	0 0.0%
板柳町	58	58 100.0%	58 100.0%	58	57	1	0	0	4	7 175.0%	0 0.0%
計	1744	1735 99.5%	1737 100.1%	1737	1696	2	39	0	134	128 95.5%	5 0.3%

(平成29年度妊産婦情報共有システム実施状況報告より)

(8) 未熟児等訪問指導状況

未熟児は、その未熟児性から疾病にもかかりやすく、心身の障害を残すことがあり、未熟児を養育する保護者の不安等も強いことから、未熟児等訪問指導を通じて養育支援を適切に進めるために関係機関との情報共有、連携体制の構築を図る。

市町村名	低出生体重児数	(再掲)未熟児養育医療申請数	未熟児等出生連絡票受理数	在胎週数別出生時体重															未熟児等訪問指導連絡票発行数
				～34週未満					妊娠34～37週未満					妊娠37週以上					
				1,000g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	1,000g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	1,000g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	
弘前市	100	21	43	0	6	3	0	0	0	0	3	8	5	0	0	1	7	10	52
黒石市	16	4	12	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0	0	1	1	4	12
平川市	15	3	14	1	0	2	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	5	1	13
西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
藤崎町	5	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
大鰐町	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
田舎館村	9	2	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3
板柳町	4	1	5	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	5
計	151	34	81	1	8	6	1	0	0	1	6	16	7	0	0	2	15	18	89

(平成29年度未熟児情報システム実施状況報告より)

(9) 平成29年度1歳6か月児健康診査実施状況

ア 一般健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
弘前市	1,223	1,218	99.6
黒石市	196	194	99.0
平川市	209	205	98.1
西目屋村	8	8	100.0
藤崎町	106	103	97.2
大鰐町	42	42	100.0
田舎館村	53	52	98.1
板柳町	76	74	97.4
管内計	1,913	1,896	99.1

*受診率が管内平均より低い市町村は、黒石市、平川市、藤崎町、田舎館村、板柳町である。

イ 歯科健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	むし歯の総数 (本)	1人あたりの むし歯本数
弘 前 市	1,223	1,218	42	0.03
黒 石 市	196	194	8	0.04
平 川 市	209	204	4	0.02
西 目 屋 村	8	8	0	0.00
藤 崎 町	106	103	12	0.12
大 鰐 町	42	42	2	0.05
田 舎 館 村	53	52	2	0.04
板 柳 町	76	74	6	0.08
管 内 計	1,913	1,895	76	0.04

*1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、藤崎町、大鰐町、板柳町である。

(10) 平成29年度3歳児健康診査実施状況

ア 一般健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
弘 前 市	1,243	1,215	97.7
黒 石 市	233	229	98.3
平 川 市	215	215	100.0
西 目 屋 村	14	14	100.0
藤 崎 町	120	120	100.0
大 鰐 町	36	35	97.2
田 舎 館 村	70	68	97.1
板 柳 町	96	94	97.9
管 内 計	2,027	1,990	98.2

*受診率が管内平均より低い市町村は、弘前市、大鰐町、田舎館村、板柳町である。

イ 歯科健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	むし歯の総数 (本)	1人あたりの むし歯本数
弘 前 市	1,243	1,215	869	0.72
黒 石 市	233	229	248	1.08
平 川 市	215	215	139	0.65
西 目 屋 村	14	14	12	0.86
藤 崎 町	120	120	65	0.54
大 鰐 町	36	35	26	0.74
田 舎 館 村	70	68	82	1.21
板 柳 町	96	94	49	0.52
管 内 計	2,027	1,990	1,490	0.75

*1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、黒石市、西目屋村、田舎館村である。

3 健康増進事業

(1) 保健事業費国庫及び県負担金関係

平成28年度保健事業費国庫及び県負担金実績報告にかかるヒアリング聴取を行った。

○実施日程：平成29年4月14日～18日

○実施場所：弘前保健所

○出席者：管内8市町村担当者、保健所

(2) 各種検診等実施状況

ア 歯周疾患検診 (平成28年度地域保健・健康増進事業報告より) (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘前市	809	427	296	86
黒石市	162	154	2	6
平川市	0	0	0	0
西目屋村	1	0	0	1
藤崎町	83	28	29	26
大鰐町	19	3	11	5
田舎館村	0	0	0	0
板柳町	5	0	3	2
管内計	1,079	612	341	126

イ 骨粗鬆症検診 (平成28年度地域保健・健康増進事業報告より) (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘前市	427	25	109	293
黒石市	116	12	32	72
平川市	412	46	70	296
西目屋村	13	5	5	3
藤崎町	0	0	0	0
大鰐町	62	8	29	25
田舎館村	47	3	8	36
板柳町	96	9	43	44
管内計	1,173	108	296	769

ウ その他の健康増進事業 (平成28年度地域保健・健康増進事業報告より)

(ア) 健康手帳交付

(人)

市町村名	交付数(年度中)		
	40~74歳	75歳以上	計
弘前市	0	0	0
黒石市	579	10	589
平川市	285	0	285
西目屋村	0	0	0
藤崎町	43	5	48
大鰐町	137	7	144
田舎館村	6	3	9
板柳町	0	0	0
管内計	1,050	25	1,075

(イ) 健康教育

(人)

市町村名	個別健康教育				集団健康教育	
	高血圧	糖尿病	高脂血症	喫煙	開催回数	延参加者数
	実施者数	実施者数	実施者数	実施者数		
弘前市	0	0	0	0	168	7,715
黒石市	0	0	0	0	88	2,250
平川市	0	0	0	0	197	2,207
西目屋村	0	0	0	0	4	41
藤崎町	0	0	0	0	56	293
大鰐町	0	0	0	0	41	516
田舎館村	0	0	0	0	36	950
板柳町	0	0	0	0	19	320
管内計	0	0	0	0	609	14,292

(ウ) 健康相談

(人)

市町村名	重点健康相談		総合健康相談	
	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数
弘前市	50	55	80	1,679
黒石市	18	187	90	1,397
平川市	15	84	46	1,193
西目屋村	0	0	18	18
藤崎町	106	671	3	320
大鰐町	28	342	23	23
田舎館村	0	0	34	836
板柳町	32	1,578	20	50
管内計	249	2,917	314	5,516

(エ) 訪問指導

(人)

市町村名	被訪問指導 実人員	被訪問指導 延人員
弘前市	158	166
黒石市	62	62
平川市	272	288
西目屋村	97	113
藤崎町	683	735
大鰐町	13	47
田舎館村	318	470
板柳町	171	203
管内計	1,774	2,084

4 歯科保健事業

(1) 8020 運動推進特別事業

糖尿病に関わる歯科疾患や生活習慣等を調査・分析し、効果的な多職種連携と教育プログラムを開発する。

ア 健康講座

「糖尿病と歯の健康—専門家に学ぶ意外な関係—」

(参加者：藤崎町住民34人)

イ アンケート調査(3回)

・内容

生活習慣や歯科受診状況、歯周病自覚症状、歯周病と糖尿病の関係性の理解度について

ウ リーフレットの作成

・藤崎町全世帯に、歯周病と糖尿病の関係性の普及啓発のためのリーフレットを町広報に同封し、配付。

エ 検討会議

・アンケート調査や健康講座内容、分析結果を情報提供し、町の健康課題等を検討。

(2) 親と子のよい歯のコンクール

子や保護者及び地域社会の歯科保健への関心を高めるため、健康な歯を持つ親と子を表彰し、地域の親子歯科保健の推進を図る。

○対象者：前年度の3歳児歯科健康診査を受診した、むし歯のない又は治療済である子とその親
306組

○開催月日：平成29年6月11日(日)

○参加者：親子52組

○コンクール結果：弘前市の親子が最優秀となった

5 栄養改善指導事業

(1) 給食施設栄養管理指導事業

特定給食施設等に対し、喫食者に適切な栄養管理が実施されるよう施設を巡回して必要な指導及び助言を行う。また、給食従事者に対し研修会を開催する。

ア 巡回指導

	指定給食施設		特定給食施設		特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設 (特定給食施設を除く)		総計
	有	無	有	無	有	無	
栄養士の配置の有無	有	無	有	無	有	無	
巡回指導対象施設数	3	0	68	8	99	24	202
巡回指導延施設数	0		24	1	40	11	76
指導率(%)	0		35.3	12.5	40.4	45.8	37.6
施設来所延指導数	0		2	0	1	1	2
電話による相談数	0		1	0	2	0	3

イ 研修会

第 1 回／市町村栄養改善業務支援事業併催	
開催日時	平成30年1月10日（水） 13：30～16：10
開催場所	ヒロロ3階 ヒロロスクエア健康ホール
参加施設数	8施設（学校給食センター5、学校3）、5市町村
参加者数	23人
内容及び講師	<p>地域ぐるみの生活習慣病予防を目指し、栄養教諭・学校栄養職員と市町村健康づくり担当者の連携を深めるため研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果報告「弘前市における連携事例」 弘前市健康づくり推進課 管理栄養士 泉谷 勢津子 氏 弘前市立東中学校 栄養士 小野 千暁 氏 ・情報提供「食農指導について」 JA つがる弘前 経済部 購買課 生活指導係長 吉崎 浩美 氏 ・グループ討議、全体討議「子どもたちの食育に取り組むための具体的な連携」 進 行：中南地域県民局地域健康福祉部保健総室 渡辺主査 まとめ：中南地域県民局地域健康福祉部保健総室 山口健康増進課長

第 2 回／市町村栄養改善業務支援事業併催	
開催日時	平成30年2月9日（金） 14：30～16：30
開催場所	津軽南田温泉ホテルアップルランド
参加施設数	93施設（保育園・幼稚園・こども園）、4市町村
参加者数	102人
内容及び講師	<p>保育園・幼稚園における食育の取り組みを推進するため給食担当者を対象とした研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業報告「おいしい給食レシピ集について」 弘前市保育研究会 給食部会長 原子 真美 氏 ・講演「時間栄養学から乳幼児期の食育を考える」 東北女子大学 家政学部学部長 加藤 秀夫 氏 ・情報提供「保育所及び幼稚園の栄養管理・食育活動に関する情報提供」 中南地域県民局地域健康福祉部保健総室 渡辺主査

第 3 回	
開催日時	平成30年2月27日(火) 13:30~16:30
開催場所	青森県産業技術センター弘前地域研究所 1階 研修室
参加施設数	59施設(病院19、特別養護老人ホーム17、介護老人保健施設9、経費老人ホーム1、養護盲老人ホーム1、介護センター1、障害者支援施設11)
参加者数	71人
内容及び講師	<p>病院・介護施設等間で転院・転所する際、適切な栄養食事情報を伝達するため、統一したツール「栄養食事情報提供書(県栄養士会作成)」の必要性・作成方法について周知し、共通理解を深めるため研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義「栄養食事情報提供書の必要性及びマニュアルの説明・演習」 青森県立保健大学 栄養学科 准教授 齋藤 長徳 氏 ・意見交換「栄養食事情報提供書の活用に向けて」 進 行：中南地域県民局地域健康福祉部保健総室 渡辺主査 講 評：青森県立保健大学 栄養学科 准教授 齋藤 長徳 氏 まとめ：中南地域県民局地域健康福祉部保健総室 山口健康増進課長

第 4 回	
開催日時	平成29年7月5日(水) 14:30~16:30
開催場所	弘前市社会福祉センター
参加施設数	56施設(保育園・こども園)
参加者数	57人
内容及び講師	<p>弘前市保育研究会給食部会研修会において情報提供とグループワークの助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供「平成27年度乳幼児栄養調査結果の概要について」 中南地域県民局地域健康福祉部保健総室 渡辺主査

(2) 市町村栄養改善業務支援事業

市町村健康増進計画等の企画・立案及び地域住民を対象とした栄養相談等の栄養改善業務に従事する管理栄養士等による連絡調整や情報交換、研修を行う。

ア 連絡調整会議

実施年月日	平成29年10月27日(月)
対象者	管内市町村行政栄養士
出席者数	9人
出席者内訳	市町村行政栄養士6市町村7人、保健所職員2人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村健康増進計画の「栄養・食生活」の目標及び中間評価の状況について ・平成29年度の新規事業・重点事業等について ・情報交換

イ 研修会

項目	第1回
実施年月日	平成29年10月27日(月)
対象者	市町村健康づくり業務担当者
参加者数	8人
参加者内訳	市町村行政栄養士6市町村7人、保健所職員1人
内容	「栄養・食生活に関する歯科保健について」 講師：弘前保健所 歯科医師 乾 明成 氏

※ 第2回、第3回は給食施設栄養管理指導事業(研修会)と併催

ウ その他市町村事業に対する支援

市町村名	具体的な内容
弘前市	弘前市食生活改善推進員養成講座 講師(1回) 生活衛生課 坂上課長 修了者24人
黒石市	黒石市食生活改善推進員養成講座 講師(1回) 生活衛生課 坂上課長 修了者24人
板柳町	板柳町食生活改善推進員会総会講師(1回) 乾技師(歯科医師) 参加者25人

(3) 食生活改善推進員の育成

ア 弘前保健所管内食生活改善推進員連絡協議会

管内市町村食生活改善推進員の活動について、連絡調整や情報交換、研修を行い、地域における食生活改善活動の効果的な実施を推進する。

事業	内容	開催場所
総会	平成29年4月24日(月)	
研修会	平成29年4月24日(月) 講話：短命県返上のために食生活改善推進員ができること 「正しい健康の知識を」 講師：弘前大学大学医学研究科 特任教授 中路 重之 氏	西目屋村中央公民館
	平成29年7月10日(月) 調理実習・講話「だし活伝道師ステップアップ研修会」 講師：だしソムリエ 奥村 雅美 氏	弘前総合学習センター
	平成29年9月25日(月) 調理実習：「生涯骨太クッキング」 伝達講話：減塩定着に向けて～浜内千波先生の講話から～	弘前市保健センター
役員会	平成29年7月10日(月)	弘前総合学習センター
	平成29年9月25日(月)	弘前市保健センター
	平成29年12月4日(月)	弘前保健所
	平成29年12月19日(火)(臨時)	弘前保健所
	平成30年3月7日(水)	弘前保健所

イ 管内市町村食生活改善推進員会会員数

市町村名	会員数(人)	
	平成29年6月1日現在	平成28年5月1日現在
弘前市	165	160
黒石市	147	152
平川市	140	138
西目屋村	12	12
藤崎町	39	40
大鰐町	56	56
田舎館村	37	38
板柳町	33	25
合計	629	621

ウ 管内市町村食生活改善推進員養成講座実施状況

弘前市、黒石市、平川市、大鰐町

(4) 青森のおいしい健康応援店認定事業

平成12年から実施してきた外食栄養成分表示店定着促進事業を廃止し、平成27年2月から県内（青森市除く）で新規事業として実施している。本事業は、「肥満予防」、「食塩摂取量の減少」、「野菜摂取量の増加」に配慮した食事メニューの提供を行う飲食店、惣菜店から申請があった場合に「青森のおいしい健康応援店」として認定し、県民が外食等を利用する際に適切なメニューを選択できる食環境の整備を推進する。

認定店舗数 8件

(5) 健康増進法及び食品表示法に基づく表示の指導及び相談

栄養成分表示や特別用途表示、誇大表示の禁止等、健康増進法及び食品表示法に基づき、事業者による食品または広告等の表示に対し相談・指導を行う。

指導及び相談件数 延べ73件

(6) 健康・栄養調査

ア 国民健康・栄養調査

① 目的

健康増進法（平成14年法律103号）に基づき、国民の身体状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康増進の総合的な推進を図るために基礎資料を得るために実施する。

② 調査地区、内容等

調査地区	板柳町いたや町2丁目
調査世帯数	実施15世帯（対象21世帯）
被調査者	実施31人（対象51人）
調査内容及び実施状況	食物摂取状況調査：13世帯 血液検査：12人（対象45人） 歩数計調査：29（対象45人） 生活習慣調査：31人（対象45人） 筋肉量測定：7人（対象25人）

6 精神保健福祉関係

(1) 通報状況

(人)

区 分	申請 通報	調査により診察 の必要がないと 認めた者		診 察 を 受 け た 者		
		入院	その他	精 神 障 害 者		精神障害者で なかった者
				法第 29 条該当 症状の者	法第 29 条該当 症状でなかった 者	
一 般 の 申 請	0	0	0	0	0	0
警 察 官 の 通 報	9	0	0	8	1	0
検 察 官 の 通 報	3	0	1	2	0	0
保 護 観 察 所 長 の 通 報	0	0	0	0	0	0
矯 正 施 設 の 長 の 通 報	6	0	4	1 ※	0	0
病 院 の 管 理 者 の 届 出	0	0	0	0	0	0
医 療 観 察 法 の 対 象 者	0	0	0	0	0	0
計	18	0	5	11	1	0

※管外 1 名を含む

(2) 医療状況

ア 入院・通院状況

(人)

市町村別	入 院		通 院	計
	措 置	医療保護		
弘 前 市	6	1,037	2,951	3,994
黒 石 市	2	322	496	820
平 川 市	1	204	466	671
西 目 屋 村	0	7	13	20
藤 崎 町	1	91	195	287
大 鱈 町	0	85	121	206
田 舎 館 村	0	48	92	140
板 柳 町	0	89	216	305
合 計	10	1,883	4,550	6,443

イ 通院医療状況

疾病別患者数では、統合失調症（F2）が全体の36.8%を占め圧倒的に多い。（人）

市町村別	F0 症状性を含む器質性精神障害	F1 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F2 統合失調症、統合失調症関連障害及び妄想性障害	F3 気分障害	F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現障害	F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F6 成人の人格及び行動の障害	F7 精神障害	F8 心理発達障害	F9 小児期及び青年期に通常発症する行動の障害等	G40 てんかん	その他 分類不明	合 計
弘 前 市	119	80	1,077	844	158	7	29	47	154	70	259	107	2,951
黒 石 市	37	16	181	123	28	1	4	13	22	14	37	20	496
平 川 市	21	10	168	125	21	1	1	16	27	9	44	23	466
西目屋村	0	1	7	2	1	0	0	1	0	0	1	0	13
藤 崎 町	17	4	76	48	12	0	2	4	8	4	8	12	195
大 鱈 町	9	3	49	29	8	0	0	5	4	1	7	6	121
田舎館村	6	2	31	20	3	1	0	2	8	4	7	8	92
板 柳 町	17	6	85	40	11	0	3	4	13	2	19	16	216
合 計	226	122	1,674	1,231	242	10	39	92	236	104	382	192	4,550

（3）精神障害者保健福祉手帳所持者数

所持者数の割合で見ると、1級31.0%、2級56.6%、3級12.4%となっている。（人）

市町村別	1 級	2 級	3 級	計
弘 前 市	594	1,122	244	1,960
黒 石 市	88	180	46	314
平 川 市	100	156	34	290
西目屋村	4	4	0	8
藤 崎 町	46	76	10	132
大 鱈 町	24	42	12	78
田舎館村	28	32	6	66
板 柳 町	32	60	16	108
合 計	916	1,672	368	2,956

（4）精神保健福祉相談（定期・随時・電話）

受診及び入院に関する相談が最も多く、次いで性格・行動上のことについてが多かった。

ア 相談開設日及び従事者

	定 期 相 談 【予約制】	定期外相談・電話相談
開 設 日	偶数月 第2木曜日、第3火曜日 奇数月 第2木曜日 ※受付 13:00～14:00	随 時
従 事 者	嘱託医 ・弘前愛成会病院 院長 田崎 博一 ・藤代健生病院 名誉院長 坂本 隆 ・聖康会病院 院長 齋藤 文男 保健師	保 健 師

イ 相談内容

(人)

	相談件数	主な相談内容															平成28年度
		受診・入院について	通院・服薬指導について	生活指導について	経済的問題について	性格・行動上について	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスについて	ひきこもりについて	自殺関連	その他	
合計	575	96	22	9	1	22	7	30	0	23	5	0	11	25	18	312	542
定期	27 (19)	5	0	0	0	4	3	6	0	0	1	0	0	4	0	4	40 (20)
随時	51 (47)	17	1	0	1	5	1	3	0	2	0	0	1	5	2	13	69 (56)
電話	497	74	21	9	0	13	3	21	0	21	4	0	10	16	16	295	433

* () 内の数値は実数

ウ 定期・随時相談の相談者内訳 (延数)

相談件数	本人	家族等				
		配偶者	父・母	同胞	子	その他
78	16	7	27	5	8	28

エ 定期・随時相談の相談経路 (件数)

相談件数	自発来所	関係機関の紹介				その他
		市町村	医療機関	警察署	その他	
78	46	8	7	6	5	6

(5) 家庭訪問

家族の依頼や関係機関等の連絡による受診勧奨の支援が多かった。

(人)

平成29年度 訪問件数 (件)	対象者別訪問状況							支援内容 ※延件数						平成28年度 訪問件数
	総計	一般	職親事業	アルコール	ひきこもり	社会復帰	その他	受診・入院に 向けた調整	通院・服薬指導	生活指導	家族関係調整	社会復帰	その他	
延数	89 (47)	54	0	2	0	0	33	14	6	17	2	0	50	81 (50)

* () 内の数値は実数

(6) 地域生活支援広域調整等事業

精神障害者の地域移行及び地域定着を促進するため、管内の精神保健福祉関係者がサービスの提供体制や連携方法について協議する。

ア 代表者による企画会議（6回）

開催年月日	平成29年5月23日、7月25日、9月26日、11月21日、 平成30年1月23日、3月1日
場 所	弘前保健所 等
出 席 者	精神科病院4カ所、相談支援事業所2カ所、弘前市福祉政策課、弘前保健所
内 容	管内の精神障がい者地域移行支援の推進に向けた意見交換

イ 精神障害者の地域移行に関する研修会（地域生活支援広域調整会議）

開催年月日	出席者	内 容
平成30年 2月7日 (水)	管内精神科病院、相談支援事業所、市町村等 計42人	1 情報提供「管内の精神科病院の長期入院患者の状況等について」弘前保健所健康増進課 2 事例紹介 障がい者生活支援センター「すみれ」 所長 川村和康氏、 相談支援専門員 滝本真紀子氏 3 グループワーク「我がこととして地域移行を考える」 助言：弘前愛成会病院 院長 田崎 博一 氏

(7) 自殺対策事業

ア 包括的基盤強化事業「多分野合同研修会」

各地域の特性に応じた包括的な自殺対策の推進に向け、関係機関のネットワークを強化することで、社会全体の自殺リスクを低下させることを目的に実施している。

開催年月日	参加者	内 容
平成30年 3月7日 (水)	管内医療機関、精神科医療機関、医師会、消防署、相談支援事業所、地域包括支援センター、市町村関係職員 計60人	1 講演 テーマ「アルコール依存症に抱える人たちへの支援を考える～自殺対策の視点から～」 講師 東北会病院 院長 石川 達 氏 2 情報提供 ①津軽断酒会 ②藤代健生病院地域連携室 PSW

イ 自殺及び自殺未遂者調査

消防署の協力を得て、自殺及び自殺企図者の実態を把握し、自殺対策に役立てることを目的に実施している。

ウ 個別支援

- ・対応ケース：2件（平成27年度～：1件、平成28年度～：1件）
- ・事例検討会：実施なし

エ 管内市町村に対する支援等

①藤崎町自殺予防対策実務者会議（2回）

- ・事業計画や事業報告、研修、事例検討による関係者間での情報交換及び意見交換

(8) 連携組織に対する支援

ア 精神障害者家族会等

家族会等組織が自立した活動を継続できるよう、地域家族会に対し、自主的な会運営の推進のために、随時相談等に対応した。

イ 精神保健福祉ボランティア

精神保健福祉ボランティア講座修了者が平成16年度に「リボンの会」を設立し、自主活動を行っている。

(9) ケース処遇に関する会議

ア 精神障害者地域ケア会議

精神障害者及びその家族に対し、その状態に応じた適切な支援をするために医療機関・福祉事務所等その他関係機関と処遇について検討や協議を行った。

- ・開催回数：16回

イ 心神喪失者等医療観察法に係るケア会議

心神喪失者等医療観察法に基づく処遇、退院後の処遇等について、医療機関、青森保護観察所、市町村等の関係機関と協議、検討を行う。

- ・対象者なし

(10) 精神科病院に対する実地指導について

障害福祉課と同行し、精神科病院実地指導は5医療機関に対して、利用者の処遇等について指導を行った。

(11) 津軽地域精神科救急医療システム稼働状況

救急当番病院は当地域には4病院あり、休日・夜間の精神科救急に対応している。受診にあたってはかかりつけ医療機関を優先として実施している。精神疾患のため緊急に医療を必要としている精神障害者が受療しているが、診察の結果19.5%が入院医療を必要としている。

病 院 名	平成29年度	内 訳			平成28年度
		電話のみ	来 院	入 院	
弘前愛成会病院	212	149	37	26	137
藤代健生病院	170	0	137	33	195
黒石あけぼの病院	14	4	4	6	16
聖康会病院	1	1	0	0	5
合 計	397	154	178	65	353

(12) 津軽地域精神科救急医療システム連絡調整委員会

津軽地域の救急医療システムの円滑な運営を図るために、医師会、医療機関、警察署、消防本部をメンバーとする連絡調整委員会を開催している。

開催年月日	出席者	内容
平成30年 2月15日 (木)	委員 6人 医療機関 3 警察署 2 消防本部 1	議題 (1) 津軽地域精神科救急医療システム事業実績について (2) 精神科救急医療システムの運営に係わる現状と課題について

7 難病関係

(1) 指定難病の医療費助成制度

難病のうち、治療方法が確立していないなど治療が極めて困難で、症状も慢性に経過し、後遺症を残すことが少なくなく、そのうえ社会復帰が難しく医療費も高額なため、経済的な問題や介護等家庭的にも精神的にも負担の大きい疾病であり症例が少ないことから、全国的規模での研究が必要な疾病を特定疾患と定義し、そのうち56疾病を公費負担の対象としていた。

平成27年1月からは「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)が施行され、医療費助成の対象となる指定難病はこれまでの56疾病から110疾病へとなり、平成27年7月からは306疾病、平成29年4月からは330疾病、平成30年4月からは331疾病となっている。

	弘前市	黒石市	平川市	西目屋村	大鰐町	田舎館村	藤崎町	板柳町	総計
IgA腎症	11	1	1		1				14
IgG4関連疾患	3			1					4
アICALディ症候群	1								1
エーラス・ダンロス症候群		1							1
オスラー病	1	1							2
クッシング病	1				1				2
クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群		1							1
クローン病	59	10	10		6	5	7	3	100
サルコイドーシス	32	9	5		3	1	2		52
シェーグレン症候群	11	2	1					2	16
パーキンソン病	207	43	37	2	16	10	16	17	348
パージャヤー病	5	1			1			1	8
ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1								1
ファロー四徴症						1			1
ブラダー・ウィリ症候群	1								1
プリオン病		2							2
パーチェット病	42	7	9	1	4	6	2	2	73
マルファン症候群					1				1
もやもや病	6	1	2				3		12
ライソゾーム病	2						1		3
リンパ脈管筋腫症			1						1
悪性関節リウマチ	10	1	1		2			2	16
一次性ネフローゼ症候群	12	3	3			1	1	1	21
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	1							2
遠位型ミオパチー	1		1						2
黄色靭帯骨化症	7		2				1		10
下垂体性ADH分泌異常症	4					1			5
下垂体性PRL分泌亢進症	7	1	1						9
下垂体性TSH分泌亢進症	1								1
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	11	2			1		1	4	19
下垂体前葉機能低下症	31	6	3		4	1	2		47
家族性地中海熱	1							1	2
球脊髄性筋萎縮症	6								6
強直性脊椎炎	5		1						6
筋ジストロフィー	9	6			1	2	1		19
筋萎縮性側索硬化症	19	4	3		2	2	1	1	32
結節性多発動脈炎	1	2			1				4
顕微鏡的多発血管炎	9		2		2				13
原発性抗リン脂質抗体症候群		1			1				2
原発性硬化性胆管炎	1								1
原発性胆汁性胆管炎(原発性胆汁性肝硬変)	21	3	3	1	2				30
原発性免疫不全症候群	1								1
後縦靭帯骨化症	105	14	16	1	4	2	10	12	164
後天性赤芽球癆	1	1							2
好酸球性消化管疾患	1								1
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	1			1				6
好酸球性副鼻腔炎	4	2	3				1	3	13
広範脊柱管狭窄症	4	2			1			1	8
高安静脈炎	8	2	1				2		13
混合性結合組織病	10	6	4				2	2	24
再生不良性貧血	15	8	2	1			1	2	29
再発性多発動脈炎	1								1
紫斑病性腎炎	3								3
自己免疫性肝炎	6				1		2		9
自己免疫性溶血性貧血	1								1
若年性特発性関節炎	1								1
若年発症型両側性感音難聴	1								1
修正大血管転位症								1	1
重症筋無力症	30	3	5		2		3	4	47
徐派睡眠期持続性棘徐派を示すてんかん性脳症	1								1
色素性乾皮症								1	1
神経線維腫症	3	1		2					6
進行性核上性麻痺	12	4	4		2	1	1		24
進行性骨化性線維異形成症	1								1
成人スチル病	6	1	1				1	1	10
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	58	12	5			3	3	5	86
前頭側頭葉変性症		1							1
全身性アミロイドーシス	2	1					1		4
全身性エリテマトーデス	98	22	14		3	4	4	5	150
全身性強皮症	42	7	11	1	3	2	2	5	73
多系統萎縮症	19	3	3		1		2	1	29
多発血管炎性肉芽腫症					1			1	2
多発性硬化症/視神経脊髄炎	38	8	6		2	5	4		63
多発性嚢胞腎	11	3			1	1			16
大脳皮質基底核変性症	9						1	1	11
単心室症	1	1							2
潰瘍性大腸炎	150	33	28	1	4	9	14	11	250
天疱瘡	3	2	2				1	1	9
特発性拡張型心筋症	17	2	3		1		4	3	30
特発性間質性肺炎	10	3	1		1	1	3		19
特発性血小板減少性紫斑病	30	3	4		1		1	4	43
特発性大腿骨頭壊死症	38	9	6			4	5	3	65
脳表ヘモジデリン沈着症		1							1
膿瘍性乾癬(汎発型)	3		1			1			5
肺動脈性肺高血圧症	1						1		2
肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)								1	1
皮膚筋炎/多発性筋炎	34	5	8		1	2	2	4	56
肥大型心筋症	4								4
非特異性多発性小腸潰瘍腫	1							1	1
表皮水疱症	1								1
封入体筋炎	1								1
副甲状腺機能低下症	1								1
副腎白質ジストロフィー	1								1
慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー	14	3				1	1		19
慢性血栓性肺高血圧症	3	1	2		1				7
網膜色素変性症	24	3	3	1	1	1	1	2	36
両大血管右室起始症			1						1
類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	2	3		1		1	1		8
総計	1375	280	220	13	81	68	112	108	2257

(2) 難病患者等相談事業

ア 医療相談

難病患者やその家族が抱える医療及び日常生活上の相談に対し、専門医等による指導・助言等を行い、在宅療養の推進を図りながら、関係者間での連携を強化し、安心・安全に療養できるためのネットワークの構築を図る。

○医療相談2回実施

回	第1回	第2回
日時	平成29年7月6日(木) 13:30~15:45	平成29年9月12日(火) 13:30~15:30
場所	弘前市民会館	弘前健康福祉庁舎
対象者	管内筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者32人と家族	
参加者	26人 (内訳) 患者4人、家族5人 講師1人(言語聴覚士) 関係者: ALS協会1人、市町村1人、 居宅介護支援事業所1人、保健所9人、 難病訪問相談員4人	16人 (内訳) 家族4人 講師1人(医療社会事業専門員) 関係者: ALS協会事務局1人、 市町村1人、難病相談支援センター1人、 保健所5人、難病訪問相談員4人
従事者	保健所長、保健師8人、訪問相談員4人	保健所長、保健師4人、訪問相談員4人
内容	①講話と実技 「ALSの人の気持ちを考える ～言語障がい・嚥下障がいを通して学 ぶ気づき～」 講師 青森県言語聴覚士会 理事 平沢 一臣氏 ②交流会	①講話 「難病患者さんが利用できる社会資源 ～制度の概要と利用するコツ～」 講師 国立病院機構青森病院 医療社会事業専門員 大平 香織氏 ②交流会

○ケア会議4回実施

患者本人、家族、支援関係者によるケア会議を随時実施している。

イ 訪問相談

医療相談に参加できない難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の相談に対し、相談員等による日常生活上の相談、指導、助言及び精神的支援を行い、在宅療養の推進を図る。

(ア) 訪問相談

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
保健所保健師 (件)	72	60	67	71
訪問相談員 (件)	131	118	104	83
計	203	178	171	154

(イ) 打ち合わせ会

開催年月日	平成 29 年 4 月 24 日 (月)	平成 29 年 9 月 12 日 (火)	平成 30 年 2 月 26 日 (月)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談員の証」交付 ・訪問相談計画 ・情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問実施状況 ・情報交換 ・医療相談について 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問相談実施状況 ・情報提供 ・29 年度計画について

(3) 新規特定医療受給者証交付時相談及び継続申請時相談

新規に難病と診断された患者やその家族が抱える医療及び日常生活に関する悩みに対し、特定医療受給者証の交付時を利用した相談・指導・助言及び精神的支援を行い、難病患者の在宅療養の推進を図る。

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
受給者証交付時相談 (件)	35	80	88	100
継続申請時相談 (件)	1,308	15	5	2
電話相談 (件)	42	20	13	4
計	1,385	115	106	106

※平成 22 年度から継続申請時の相談を行ってきたが、H29 年度は希望により相談に応じる体制とした。

(4) 難病在宅ケア推進ネットワーク会議

難病患者の在宅療養の特殊性を踏まえた包括的な支援体制の構築により、難病患者とその家族が安心して療養生活を継続できるように、支援関係者間の連携の促進を図る。

開催	場 所	出席者	内 容
平成 30 年 2 月 13 日 (火) 14:00~16:00	青森県産業技術センター 弘前地域研究所	弘前市医師会、南黒医師会、健生病院、国立病院機構青森病院、弘前市立病院、弘前大学医学部附属病院、弘前医師会弘前地区在宅医療支援センター「そよかぜ」、訪問看護ステーション連絡協議会中南黒支部、県介護支援専門員協会津軽支部、理学療法士会津軽支部、青森県難病相談支援センター、難病連、県立中央病院医療連携部、青森公共職業安定所、市町村(弘前市、大鰐町)、弘前市障害者生活支援センター、弘前地区消防事務組合消防本部、弘前保健所 計 30 人	1 事業報告 「H29 弘前保健所の難病対策について」 2 情報交換・意見交換 「患者や家族が安心して在宅療養するための支援と連携」 助言者 国立病院機構青森病院副院長 高田博仁 氏

(5) 患者会支援

同じ疾患をもつ患者やその家族が、治療や療養生活上の悩みを共有し、難病を抱えながら生活していくための仲間づくりや交流するための活動を支援する。

- ア 新規特定疾病医療受給者証交付時相談や随時相談、及び難病訪問相談員や所内保健師訪問時の情報提供
- イ 患者会活動について対象者への周知の協力。(パーキンソン病、脊髄小脳変性症、等)
- ウ 後縦靭帯骨化症の患者会「まるめろの会」医療講演会出席(1回)

(6) 青森県重症難病患者在宅療養支援事業

- ・対 象：人工呼吸器を装着し、在宅療養している方
- ・内 容：①一時入院、②看護人派遣
- ・登録者：1人(実際の利用には至らず)

8 石綿に係る健康相談等及び被害救済制度に関する申請状況

石綿による健康被害の特殊性にかんがみ、石綿による健康被害を受けた者及びその遺族に対し、医療費等を支給するための措置を講ずることにより、石綿による健康被害の迅速な救済を図る。

(1) 石綿健康被害救済制度に係る申請受付状況

平成29年度においては、認定申請1件

9 保健師業務連絡会議

管内市町村・事業所等に勤務する保健師を対象として、保健活動に関する情報交換及び学習会を開催し、業務の円滑化を図る。

開催年月日	参加者	内 容
平成29年 8月8日 (火)	市町村9人 保健所4人 計13人	1 講 話「保健師活動指針の活用と人材育成について」 講師 青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課 総括副参事 三浦たみ子 2 情報交換 ①「初任期・新任保健師の育成の現状と課題」 ②「平成29年度の各市町村保健師活動の重点目標について」
平成30年 3月12日 (月)	市町村12人 保健所10人 オブザーバー 9人 計31人	1 情報交換「平成29年度の各市町村の重点保健活動の実践及び評価について」 2 講 話「大規模災害時の保健医療活動に係る体制整備について」 講師 中南地域県民局地域健康福祉部長 山中朋子 3 情報提供「大規模災害発生時の県健康福祉部の体制見直しについて」健康福祉政策課総務グループ 主査 成家昌治 4 情報交換「各市町村における災害時の対応体制について」

10 保健師の育成支援

(1) 保健所保健師等育成支援事業（トレーナー保健師事業）

行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として、保健所の初任期の保健師（採用1年目）が行う保健活動について支援するものである。

ア 対象者：所内初任期保健師1人

イ トレーナー保健師1人（在宅保健師 成田 むつ子）

ウ 事業日数：15.0日

エ 内容

種別	日数	件数	内 容	
			保健所	大鰐町*
家庭訪問	10	22	難病 5件 ケース連絡 9件	妊産婦2件、新生児2件 がん検診精検者勸奨4件
健康診査	1	2		3歳児健診2人
健康教育	1	32		元長峰地区住民32人
評価会	3		年度初め打合せ会（5/30） 中間評価会（10/17） 最終評価会（2/13）	
計	15	56		

*市町村における保健師活動や連携について理解を深めるため、大鰐町をフィールドに訪問等活動を実施。

(2) 市町村における新任等保健師育成支援事業

行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として、市町村の新任等保健師が行う保健活動について支援するものである。

平成29年度は希望市町村なし。

(3) 初任期保健師及び新任期保健師研修

初任期保健師び新任期保健師が、保健師の専門能力を発揮し、地域保健活動を展開できるよう、対人支援や保健事業実施のための基本的な実践能力を身につけるとともに、現任教育の体制づくりを推進する。

【目標】

<初任期>（1年未満）

担当業務を中心に法令や施策体系を理解し、公衆衛生の視点を持って個人の対人支援や保健事業の実施ができる。

<新任期>（1年以上5年未満）

基本的な実践能力を確実なものとして保健師活動を展開することができ、最適なサービス提供のために、関係職種、関係者を選択し、連携・調整ができる。

ア 対象者

(人)

	弘前市	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	保健所	計
初任期	3							1	1	5
新任期	6	2	1		2		1	3	6	21
計	9	2	1	0	2	0	1	4	7	26

イ 内容 5回開催 会場：保健所ほか

(人)

開催年月日	プログラム	初任期	新任期	指導保健師	計
平成29年 8月2日(水)	講義 ・「公衆衛生における保健所の機能と役割等」 講師：所長 山中 朋子 ・「市町村と保健所保健師の役割」 講師：健康増進課長 山口 久美子 ・「青森県保健師活動指針の活用と人材育成について」 講師：がん・生活習慣病対策課 総括副参事 三浦たみ子 演習 グループワーク「地域診断の実際」	4	14	1	19
平成29年 10月26日 (木)	講義 ・「児童相談所の機能と役割」 講師：弘前児童相談所 児童福祉司 田中哲司 ・「地域診断の考え方」 講師：弘前保健所 健康増進課長 山口 久美子 グループワーク 「各自の事業等計画の意見交換及び事例検討のテーマ について」 情報交換「日頃の業務や悩みなど自由に情報交換」	4	14	0	18
平成29年 12月15日 (金)	事例検討とグループ発表 講義・助言 ・「精神疾患の基本病態及び治療方法等」 講師：精神保健福祉センター 所長 田中 治	4	14	1	19
平成30年 2月21日 (水)	グループワークⅠ「各自の事業等評価について」 グループワークⅡ「今年度の振り返りと課題及び要望」 グループ発表 助言：がん・生活習慣病対策課 総括副参事 三浦たみ子 まとめ 弘前保健所 健康増進課長 山口 久美子	4	7	1	12

1 1 保健協力員の育成支援事業

市町村等が所管し育成している保健協力員等組織を対象に、活動に関する情報交換と地域の健康問題についての学習、意見交換等を行い、管内の保健協力員等の活動の活性化及び健康水準の向上に寄与することを目的に支援した。

(1) 実施状況

ア 研修会

(ア) 月 日：平成29年8月25日（金）

(イ) 場 所：青森県武道館

(ウ) 参加者：計80人（保健協力員61人、市町村担当者10人、事務局等9人）

(エ) 内 容

メインテーマ 「糖尿病について、正しく知ろう」

1 講演 「糖尿病とは、血糖値とは、正しく知って、早期発見・早期治療につなげよう」

講師 板柳中央病院 院長 長谷川 範幸

2 活動紹介 「40代 健康に自信があっても 検(健)診を！」

発表者 弘前市健康づくりサポーター連絡協議会 会長 成田 津江

3 話題提供

① 糖尿病と健康行動(生活習慣)について

提供者:弘前保健所 技師 (歯科医師) 乾 明成

② 管内の糖尿病の現状について

提供者:弘前保健所 健康増進課 技師 田中 裕美

4 グループワーク

「糖尿病や血糖値のことで知っていること、知らないこと」

座長 弘前保健所 健康増進課長 山口 久美子

グループ討議・発表、まとめ・助言

イ 役員会

開催年月日	内 容	出 席 者
平成29年 6月8日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業及び決算報告について 平成29年度事業計画及び予算(案)について 研修計画、活動報告、その他 	保健協力員 7人 市町村担当者 7人 事務局 3人 計17人
平成30年 2月1日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業及び決算報告について 平成30年度事業計画について 次年度研修計画、その他 	保健協力員 8人 市町村担当者 7人 事務局 4人 計19人

(2) 管内市町村保健協力員等の設置状況

(平成 29 年 4 月現在)

市町村名	名称	人数			任期／組織名	担当部局
		(人)	男	女		
弘前市	健康づくりパートナー	352	49	303	2年／健康づくりパートナー連絡協議会	健康づくり推進課
黒石市	保健協力員	226	7	219	2年／保健協力員会	健康推進課
平川市	保健協力員	197	6	191	2年／保健協力員会	健康推進課
西目屋村	保健協力員	21	0	21	2年／(組織なし)	住民課
藤崎町	健康推進員	126	1	125	2年／健康推進員会	福祉課
大鰐町	保健協力員	60	0	60	2年／保健協力員会	保健福祉課
田舎館村	保健協力員	61	0	61	2年／保健協力員会	厚生課
板柳町	保健衛生協力委員	90	41	49	2年／(組織なし)	健康推進課
計		1,133	104	1,029		

1.2 医療技術者等の研修・実習

養成機関等の依頼により、看護学生等が、保健所の機能と役割を理解し、地域保健活動及び公衆衛生看護活動、または、公衆栄養活動の実際を学ぶことを目的として実施している。

大学名	研修期間	日数 (日)	人数 (人)
弘前大学医学部保健学看護学専攻	平成 29 年 6 月 26 日(火)～6 月 30 日(金)	5	4
青森中央学院大学看護学部	平成 29 年 8 月 21 日(月)～8 月 24 日(木)	4	4
弘前医療福祉大学保健学部看護学科	平成 29 年 6 月 13 日(火)	1	8
	平成 29 年 10 月 10 日(火)～10 月 13 日(金)	4	6
青森県立保健大学健康学部栄養士学科	平成 29 年 6 月 19 日(月)～6 月 23 日(金)	5	4
東北生活文化大学家政学科	平成 29 年 9 月 4 日(月)～9 月 8 日(金)	5	2
計 5 校 5 学部		延 24	延 28

1 3 医療介護連携調整実証事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、市町村の在宅医療・介護連携推進事業の取組の支援として、当管内における入退院ルールを平成 27 年度より策定し運用している。モニタリング調査で運用状況を把握し、地域課題を整理し、ルールの修正等・周知を行った。

(1) 実施状況

ア 第 1 回市町村担当者会議

(ア) 日 時：平成 29 年 12 月 4 日（金） 14：00～15：30

(イ) 場 所：ラグリー

(ウ) 出席者：市町村在宅医療・介護連携推進事業担当課、市町村地域包括支援センター、保健所等 計 34 人

(エ) 内 容：入退院調整ルール活用後の評価と修正等について検討する

- 1 入退院ルールモニタリング結果について
- 2 入退院調整ルールの修正について
- 3 ケアマネ代表者選出について
- 4 その他（今年度の計画）

イ 病院・ケアマネ協議

(ア) 日 時：平成 30 年 1 月 12 日（月） 13：30～15：00

(イ) 場 所：アートホテル弘前シティ

(ウ) 出席者：医療機関、弘前市医師会、弘前薬剤師会、弘前歯科医師会、南黒歯科医師会、市町村在宅医療・介護連携推進事業担当課、市町村地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、保健所等 計 91 人

(エ) 内 容：スムーズな入退院調整に向けたルールの課題や修正について協議する

- 1 入退院ルールモニタリング結果について
- 2 入退院調整ルールの修正について
 - ① 有床診療所への対象拡大について
 - ② 薬剤師会の役割について
- 3 その他

ウ 第 2 回市町村担当者会議

(ア) 日 時：平成 30 年 3 月 9 日（金） 14：00～15：30

(イ) 場 所：ラグリー

(ウ) 出席者：市町村在宅医療・介護連携推進事業担当課、市町村地域包括支援センター、保健所等 計 20 人

(エ) 内 容：1 入退院調整ルールの修正確認

- 2 在宅医療介護連携推進事業について意見交換
- 3 その他